

帯広の森 30 周年記念シンポジウム

昭和 50 年から毎年開催されてきた帯広の森市民植樹祭は、平成 16 年 5 月の第 30 回目をもって終了しましたが、これはあくまでも、長い森づくりの中の通過点のひとつであり、今後は森の育成や利活用に主眼を置いた森づくりに取り組み、発展させていく必要があります。また、今後の帯広の森づくりにおいても、市民の主体的な参加がより一層求められます。

そこで、帯広の森市民植樹祭実行委員会では、帯広市との共催により、30 年間の帯広の森づくりを振り返るとともに、関係者や市民に今後の森の育成や利活用のあり方などを考えてもらい、森づくりへの参加意識を高めることを目的として、平成 16 年 11 月に、『帯広の森 30 周年記念シンポジウム』を開催しました。

基調講演として、森の生態や育林に詳しい斎藤新一郎氏に、森の育て方や楽しみ方などについて紹介いただきました。今後、帯広の森が市民に憩いの場として、また多くの生き物を育む場としてさらに成長するために、私たち市民は帯広の森とどう関わればよいのかを考える大きなきっかけとなりました。

また、パネルディスカッションでは、4 名のパネラーが、それぞれの立場から、これまでの帯広の森づくりについて振り返りながら、森づくりの「これから」に焦点を当てて議論しました。今後、帯広の森が果たす役割や、森づくりの可能性、市民と森との関わり方などについて活発な意見交換、提言が行われました。

1. 日時 2004 年（平成 16 年）11 月 20 日（土） 午後 1 時 30 分～午後 4 時

2. 場所 寿御苑（帯広市西 7 条南 6 丁目）

3. 主催 帯広市、帯広の森市民植樹祭実行委員会

4. プログラム

（1）主催者挨拶

帯広市長

砂川 敏文

帯広の森市民植樹祭実行委員会実行委員長

高橋 猛文

（2）基調講演

テーマ

「森を知り、育て、楽しむ」

講師

斎藤 新一郎 （環境林づくり研究所所長）

（3）帯広の森 30 周年記念映像上映

（4）パネルディスカッション

テーマ

「考えよう これからの帯広の森」

パネラー

太田 道子 （帯広市立花園小学校学校評議員）

堀之内 清志 （エゾリスの会会長）

金清 典広 （高野ランドスケーププランニング株式会社代表取締役）

砂川 敏文 （帯広市長）

司会

山田 英和 （帯広の森市民植樹祭実行委員会事務局長）